

令和元年度

志摩市漁業集落排水処理施設機能保全工事

【電気設備】

特 記 仕 様 書

志摩市上下水道部下水道課

目 次

第1章 総 則

第1条 工事概要	1
第2条 一般事項	1
第3条 完成引渡しについて	1
第4条 工事現場発生品	2

第2章 運転操作設備

第1節 一般事項	3
第2節 機器仕様	3

第1章 総 則

第1条 工事概要

本工事は志摩市漁業集落排水処理施設機能保全工事の電気設備工事を行うものである。
本工事は、既設機器の撤去・更新・処分及び試運転調整までの一切を行うものである。

第2条 一般事項

本工事の施工にあたって、本特記仕様書の他、三重県公共工事共通仕様書（平成28年度版）、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成28年度版）、その他諸規格、基準を準用する。

なお、疑義が生じた時は、監督員と速やかに協議の上施工にあたること。また、受注者は仕様書・設計図面等に記載する工事を関係諸法令に従い誠実にして完全な施工をなすこと。

第3条 完成引渡しについて

1. 装置・機器の説明

系統図、フローシート等による装置の説明及び機器類の取扱い説明をする。

2. 設計関係事項

自動制御のプログラム等の説明をする。

3. 施工状況

保守上注意する要点等について説明する。

4. 運転指導

装置・機器等の動作運転順序、警報、故障表示及び復帰の方法等について説明する。

5. 保守管理上必要な事項

法規関係等保守管理上必要な点について説明する。

6. 主要機器類の連絡先

主要機器の製造者・住所及び連絡先並びに非常時の連絡体制等、一覧表にしたものを提出し説明する。

7. 完成引渡し時の主な図書類完成図、保守に関する指導案内書、機器性能試験成績書、その他保守上必要な図書

8. 予備品及び工具類

第4条 工事現場発生品

- (1) 受注者は、工事施工によって生じた現場発生品について、現場発生品の調書を作成し監督員に提出すること。
- (2) 受注者は、発生品のうち産業廃棄物の処分については産業廃棄物管理票（マニフェスト）の管理等を通じて把握すること。
なお、管理票の写しを監督員に提出し、原本を完成時に提示し、5年間保存すること。
- (3) 受注者は、発生品のうち再生資源の利用をはかると指定されたものは、分別を行い所定の再資源化施設等に搬入を行った後、調書を監督員に提出すること。
- (4) 受注者は、建設副産物適正処理推進要綱（建設事務次官通達）、再生資源の利用の促進について（経済産業省産業技術環境局リサイクル推進課通達）を遵守して、建設副産物の適正な処理及び再生資源の活用をはかること。

第2章 運転操作設備

第1節 一般事項

1. 概要

志摩市漁業集落排水処理施設の機能保全工事に伴い、電気設備の改修を行うものである。

2. 設備機器

- | | | |
|--------------|----|-----|
| (1) 自動通報装置 | 更新 | 1 式 |
| (2) 前処理施設現場盤 | 更新 | 1 式 |

3. 工事範囲

- (1) 機器仕様に記載する機器の製作及び据付工事、残材処理
- (2) ケーブル配線・配管工事
- (3) 本設備機器の各種接地工事
- (4) その他、上記に伴う諸工事
- (5) 工事により発生した残材は三重県建設副産物処理基準により適正に処理する

第2節 機器仕様

1. 自動通報装置

- (1) 電源方式 AC100V/200V
- (2) 入力信号 最大16点
- (3) 出力信号 リレー接点出力
- (4) 通報先数 既設同等
- (5) 動作環境 温度-10℃～60℃、湿度45%～85%RH(結露しないこと)
- (6) 数量 1 基 (浄化センターとマンホールポンプ場A-1兼用)

2. 前処理施設現場盤

- | | |
|----------|-------------------------|
| (1) 形式 | 屋内壁掛型 |
| (2) 寸法 | 400W×300H×150D程度 |
| (3) 制御機器 | 荒目スクリーン、破碎機、沈砂排出ポンプ、空気弁 |